令和6年第8回田上町教育委員会定例会会議録

1. 開会年月日 令和6年8月22日 午後1時15分
2. 開会場所 田上町役場 会議室2
3. 出席委員 教育長 首藤 和明
教育委員（教育長職務代理者） 石田 一平
教育委員 山田 正夫、齋藤 美里、渡邊 悦子
4. 欠席委員 なし
5. 職務のため出席した者
事務局長 時田 雅之、管理指導主事 中野 國芳、局長補佐 諸橋 弘樹
副参事 渡辺 真夜子
6. 会議に付した事件
 - (1) 議第1号 就学困難な児童生徒に係る就学援助について（非公開）
 - (2) 議第2号 田上町いじめ防止基本方針の改定（案）について
 - (3) 諸報告
 - (4) その他
7. 会議の経過及び結果
令和6年8月22日午後1時15分、令和6年第8回田上町教育委員会定例会の開会を宣言した。本会期を1日と提案し、了承され決定した。本日の会議録署名委員に石田委員を指名した。

教育長 議事に入りたいと思います。議第1号修学困難な児童生徒にかかる就学援助について、こちらは非公開としたいと思います。よろしいでしょうか。（「はい。」の声あり。）

では、非公開といたします。事務局から説明をお願いいたします。

(以後、非公開)

教育長 続いて、議第2号 田上町いじめ防止基本方針の改定（案）について、説明をお願いいたします。

管理指導主事 お願いいたします。今回の改定案ということですが、お手元の方に

資料として配布させていただきました。最初に、基本方針の改定について、理由と経過、主な改定内容を記載したものと、改定後の全文を付けさせていただきました。これを基に、皆様からご意見を伺いたいと思っております。以前も案についての説明を何度かさせていただいておりますが、改定にあたっては県の基本方針等を参考にしながら作業を進め、主な改定の内容は資料に記載の5点であります。

簡単であります、説明は以上となります。

教育長 ありがとうございます。現行の、いじめ防止基本方針をどのように改正していくかというものと、それを全部改正した後のアンダーラインや見え消しの無い二つの資料を用意させていただきました。既に見ていただいているところもあるわけですので、この場でご意見等を伺わせてもらえればと思っております。よろしくをお願いします。

齋藤委員 1ページになるところの第1の1の6行目、鍵括弧が付いているところがあるんですが、閉じ括弧がないんですけど。

管理指導主事 ありがとうございます。

教育長 細かいところ、お気づきいただきありがとうございます。なかなか分量もありますので、後で振り返って読んでみて、ここはどうなんだろうというものが出てくる可能性もあるんですが、いつぐらいまでだったらというのは、時期を決めてもいいのかなと思うんですけども、どうでしょうか。

局長 どこの会だったかちょっと忘れたんですけど、改正後のいじめ防止基本方針を8月中を目途にホームページに掲載するという話をしたと思うんですけども。

教育長 青少年問題協議会でしたでしょうか。

局長補佐 今回の案を見ていただいて、この場でご意見等がなければ、この案で改正をさせてもらいホームページに載せた方がいいと思いますが。

教育長 一応、今ここでもう少し時間を取らせていただいて、修正等がなければ決定ということでさせていただきたいと思っております。よろしくをお願いします。いかがでしょうか。（「結構です。」の声あり。）

慎重に何度も見ていただいて、本当にありがとうございました。それでは、先ほどの鍵括弧閉じを付け加え、案のとおりとさせていただきます。よろしくをお願いします。ありがとうございました。

以上で、議第2号を終了いたします。諸報告についてお願いします。

局長 特別ありません。

教育長 事務局からの報告はなしということであります。続いて、その他に入ります。皆様の方から何かありますでしょうか。なければ、事務局の方から何かありますか。

局長 特別ありません。

齋藤委員 今年、加茂・田上の陸上大会はあるんですか。

教育長 加茂・田上の陸上大会は予定しています。去年は暑くて練習ができず、あまり練習ができていないようであれば、いきなり本番はということで中止になったんですけど、今年、9月25日を予定しています。27日の金曜日が予備日です。

齋藤委員 ありがとうございます。

教育長 ほか、よろしいでしょうか。

石田委員 先日、薬物の会議に出席しました、話題になったのはオーバードーズ。都会では多いらしいのですが、日頃のストレスを抱える中学生、高校生と右肩上がりが増えてきており、地方でも増えつつあると、そういう注意喚起がなされました。市販薬の鎮痛剤などの過剰摂取による中毒になるんですね。後は、覚せい剤などについて、中学・高校と関係なく、これから増えていく可能性がありますので、「うちの子は勉強をしっかりとやってるから大丈夫だ」というふうに安心されては困ります、というふうな話が出ておりました。ただ、抑えようがないんですね。市販薬で誰でも買えるので。田舎に行けば行くほど薬局って多いんですね。半径何キロとかにすると、田舎も都会も関係ないらしくて。子供でも買えるわけですね。風邪薬だったら買えるので。処方箋がなくても一般薬で買えるから、その危険性が非常に高まっているという情報がありました。実際的に被害そのものはまだ少ないらしく、三条市では数件あったらしいですけども、加茂市とかは出ていないらしいので。ただ、気を抜いていると知らない間に知らないところで知らない状況が生まれてきますよというお話をいただきました。皆さん、注意深くしていきましょう。

齋藤委員 ちなみに、何で分かるんですか。救急車などで運ばれて分かった件数なんですか。

石田委員

結局、意識混濁が一番多いらしいです。朦朧としはじめるとか。要するに睡眠薬ではないので、鎮痛剤などを過剰に摂取すると、意識は混濁するんだそうです。その状況で初めて親が分かるというふうな、発見されるということが多いらしいです。「ちょっとハイな状態になるんですよ。」と、担当の方が言ってました。本人は罪の意識が全くないらしいんですよ。ネット上で、「ストレスから開放できるよ」、「気持ち良くなれるよ」というような情報がどんどん流れているらしくて、罪にはならない。害はないようなことがネットなどに出ているので、非常に手軽にやりやすく、手が出しやすい状況ですので、特に中学生高校生の受験前の3年生辺りが手を出す可能性があるんで、それも頭のいい子に限ってやるようです。厳密にいうと法に触れてるわけではないので、処罰対象にはならないのだそうです。健康被害はあるけれども、処罰対象にならないと。これは非常に歯がゆいところだというようなことを警察の方が言うておりました。

教育長

ありがとうございました。

ほかにございませつか。なければ、以上で第8回の教育委員会定例会を終了いたします。ありがとうございました。